

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/08/18

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.46	0.07
JPY/THB	0.2626	-0.0010
USD/JPY	135.05	0.83
EUR/THB	36.10	0.10
EUR/USD	1.0180	0.0009
USD/CNH	6.794	0.002
SGD/THB	25.69	0.01
AUD/THB	24.61	-0.25
USD/INR	79.45	-0.21
USD Index	106.57	0.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.898	-0.013
10Y (THB)	2.431	-0.001
5Y (USD)	3.051	0.098
10Y (USD)	2.897	0.093

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,760.3	-12.9
WTI (Oil)	88.11	1.58
Copper	7,924.5	-54.5

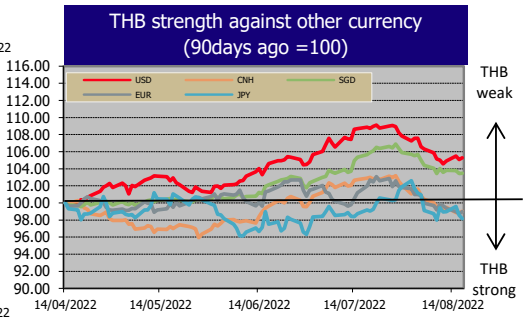
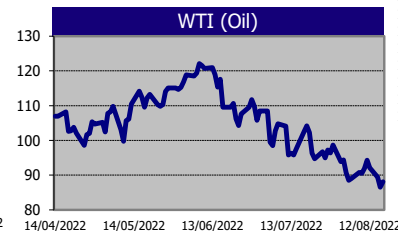
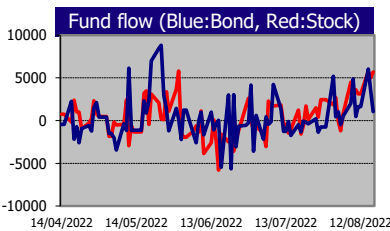
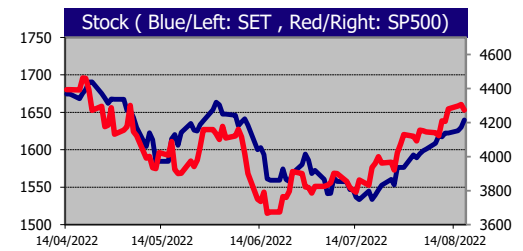
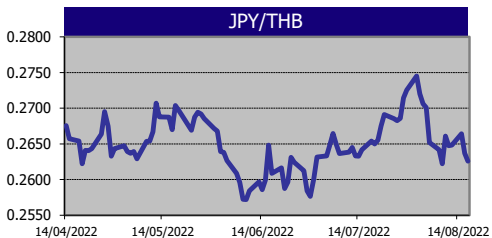
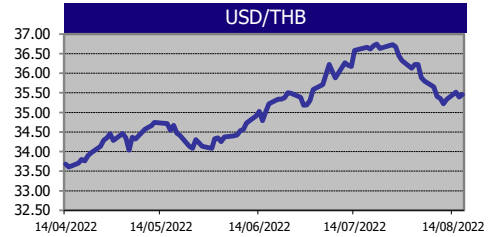
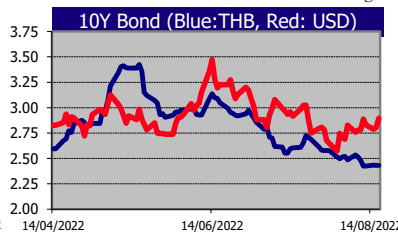
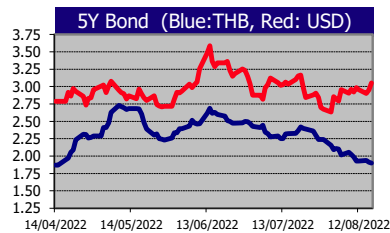
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,639.72	9.77
NIKKEI (JP)	29,222.77	353.86
DOW (US)	33,980.32	-171.69
S&P500 (US)	4,274.04	-31.16
SHCOMP (CN)	3,292.53	14.64
DAX(GER)	13,626.71	-283.41

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	5,701	696.6
Bond net flow	1,059	-2448.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドル/パーツは小幅に上昇した。35パーツ前半でスタートしたドル/パーツは、材料に乏しい中、狭いレンジでの推移が継続。午後に入り、米金利が上昇する動きを眺め、ドル買いが強まる展開にドル/パーツも一時35パーツ台半ばまで上昇するも、同水準を上抜けるには至らず。その後、NY時間には米7月小売売上高、FOMC議事要旨(7月開催分)が公表されるも、ドル/パーツ相場への影響は限定的なものに留まり、結局35.46レベルでクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル/円は上昇した。134円台前半でスタートしたドル/円は、序盤こそ133円台後半まで下落する場面が見られるも、上述の米金利上昇を受けたドル買いに水準を切り上げる展開。NY時間に発表された米7月小売売上高は前月比+0.0%と市場予想(同+0.1%)を下回るも、コア指数では同+0.7%と市場予想(同+0.4%)を上回る結果であることが確認され、一時135円台半ば付近まで上昇。一方で、その後公表されたFOMC議事要旨(7/26-27開催分)では、過度な金融引き締めに対するリスクを指摘した上で、いずれ政策調整により経済活動とインフレに与えた影響を精査する必要がある、と記されていたことから、今後の利上げペース減速が意識されると、ドル/円は135円台丁度付近まで下落し、結局135.05レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

米FRBは直近2回のFOMC会合で異例の75bp利上げを連続して実施して来ていますが、昨晚公開された前回7月FOMC会合議事録では、FOMCメンバーがいずれ利上げペースを減速すると認識していることが再確認されました。その為にはインフレ率の鈍化が必要であり、その点、前回7月FOMC会合の後に発表された米7月CPIが久しぶりに事前予想を下回る結果となったことは好材料です。目先は米8月CPI(9/13発表)が注目材料となりますが、インフレ率鈍化が確認される結果となれば、9月FOMC会合における利上げ幅が50bpに戻る可能性が高まり、一気に相場のテーマが変わる可能性があります。その際は、将来の景気後退を織り込む動きが加速するものと予想され、為替はドル安に振れるものと考えます。(池澤)